

様式第2号（第8条・第9条関係）

令和 2年 2月17日

白老町議会  
議長 松田 謙吾 様

白老町議会議員 佐藤 雄大 印

派遣結果報告書

日時（期間）	自 令和 2年 1月30日（木） 至 令和 2年 2月 1日（土） （2泊3日）
目的地	京都市・奈良市
調査事項	国立博物館の集客と市民ボランティア活動について
視察の成果 （具体的に）	別紙参照

※ 必要の都度、写真その他を添付すること。

# 1. 南山城村道の駅

## 概要

京都府南東部、滋賀、三重、奈良の三県に隣接する京都府唯一の村で、人口約2,700人。お茶や米、しいたけが名産品である。日本創成会議では「全国で17番目、京都で最初に消滅する可能性がある自治体」とされた。

しかし、2017年に、道の駅～お茶の京都みなみやましろ村～をオープンさせ、現在では年間4億円以上の売り上げとなっている。

## 課題

- ・人口減少（高齢化率40%超え）
- ・名産であるお茶の収入が減少している。

## 目的

人口減少、少子化、高齢化、グローバル化と社会構造の変化、国力の低迷といった諸要因から「村で暮らし続ける」ということが当たり前でなくなる時代に突入する。このため、村は、行政・村民・民間の垣根を超え「村で暮らし続ける」ために必要な仕掛けづくりに着手すべく、道の駅整備等に取り組む。自社ブランド化による商品開発等で廃棄分を現金にして、生産者に還元するとともに、雇用機会を創出する。

## 工夫している取り組み

- ・地域の知恵を生かした料理の提供(大豆の南蛮漬け)
- ・地元の名産品を生かした商品開発により、お茶のソフトクリームやプリン、椎茸のうま煮、椎茸のからし漬けを開発
- ・デザイナーを採用し、デザインに力を入れ、統一感を出す。
- ・村民も頻繁に使えるようローソンや山崎製パン、生協商品も購入可能
- ・企業とのコラボやECサイト(ネットショップ)での販売
- ・海外進出(サンフランシスコ、シンガポール)まで手掛けている。
- ・考えた方としては「村には〇〇がある！」  
村の価値を創造していき、地元でしか買えないものを売る。

## 白老町での活用方法

- ・白老にしかないものでの商品開発と販売
- ・廃棄されているもの、魚や鹿、野草等その他規格外品等での商品開発、販売
- ・駅北インフォメーションセンター等での販売  
→ECサイト（ネットショップ）での販売
- ・アイヌ民族、先人の知恵を生かした料理を食べる機会の創出
- ・町民に対しての特典等で町民にも利用してもらう仕組みづくり

ウポポイと駅北インフォメーションセンターの連携だけでなく、行政、町民、民間が一体となって、白老町の観光発信に取り組んでいかなければならない。また、白老町での商品を全国、世界に広めていき、新たな白老ブランドの確立をすることで、白老町のPRと地産地消にもつながっていく。

## 南山城村道の駅



名産のお茶と商品開発したしいたけのうま煮とからし漬



## 2. 奈良国立博物館

### 概要

仏教美術及び奈良を中心とした文化財について、収集、保存、管理、展示、調査研究、教育普及事業等を行っている。

休館日	月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館） 年末年始、展示作業等のため臨時休館有り
開催時間 営業時間	9時30分～17時（入館は閉館の30分前まで） ※特別展期間中は18時まで ※金曜日、土曜日は20時まで（庭園のみ開館期間を除く）
料金	一般 520円（令和2年4月1日より700円） 大学生 260円（令和2年4月1日より350円） 高校生以下および18歳未満、70歳以上は無料 ※特別展は別料金 ※障がい者とその介護者1名は無料 ※こどもの日、国際博物館の日（5月18日）、敬老の日、 関西文化の日、おん祭お渡り式の日、節分は名品展無料

### 課題

- ・17時以降の観光客が少ない。
- ・奈良は宿泊施設が少なく、長い時間奈良に滞在してもらわないといけない。
- ・近隣の観光名所(鹿公園や東大寺)に行ってしまう。

### 工夫している取り組み

- ・特別展、奈良は2週間程度実施する「正倉院展」が年間来場者数の半数程度
- ・写真撮影可能スペース用意し、SNSでの拡散を狙う。
- ・中国人気を活用し、中国人ユーチューバーに宣伝してもらう。
- ・親子で参加できる体験型プログラムの実施
- ・特別展に合わせた料理の実施
- ・ボランティアはグループを3つに分け活動（生きがいややりがいがある。国立博物館一ボランティアの数が多い。）
- ・展示物等の多言語化

### 3. 京都国立博物館

#### 概要

京都に都が置かれた平安時代から江戸時代の京都文化を中心とした文化財について、収集、保存、管理、展示、調査研究、教育普及事業等を行っている。

休館日	月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館） 年末年始、展示作業等のため臨時休館有り
開催時間 営業時間	9時30分～17時（入館は閉館の30分前まで） ※特別展期間中は18時まで ※金曜日、土曜日は20時まで（庭園のみ開館期間を除く）
料金	一般 520円 令和2年4月1日より700円 大学生 260円 令和2年4月1日より350円 高校生以下および18歳未満、70歳以上は無料 ※特別展は別料金 ※障がい者とその介護者1名は無料

#### 課題

- ・奈良と同様、博物館周辺の観光名所(清水寺や三十三間堂)に行ってしまう

#### 工夫している取り組み

- ・夜間開館より早朝開館を実施し、カフェセットの提供
- ・専用キャラクター（とらりん）は海外客に人気
- ・郵便局との連携(切手を作成し、宣伝)
- ・展示物等の多言語化



## 白老町(ウポポイ)での活用方法

- ・ 共通チケット（仙台陣屋）やチケットの半券での値引き
- ・ 特別展（他民族、ゴールデンカムイ等の企画展）の実施、工夫

多言語化や体験プログラムの充実、夜間開館での専用プログラム等はウポポイで実施予定である。共通チケットの販売や、チケットの半券やSNSへの投稿での値引きを町内の飲食店等と連携することで、町内の経済活性化も期待することができる。特別展の人気により来場者数に大きな影響があるとのことで、ウポポイも人気漫画とのコラボや、日本や世界の民族博物館との連携により、アイヌ文化をはじめとした民族文化の発信拠点になり、さらに価値を高めることができる。

## 奈良国立博物館



## 京都国立博物館

